

表 4 - 4 定期モニタリング調査の結果

(平成 15年 3月31日現在)

汚 染 物 質 (環境基準)	調 査 実 施 地 区	汚染発見 年 月	モニタリング 井戸数	定期モニタリングによる濃度変化		
				最高検出 濃 度 A (mg/L)	最高濃度検 出井戸での 最近2年間平 均濃度 B (mg/L)	B / A × 100 (%)
トリクロロエチレン (0.03mg/L)	鯖 江 市 筋生田町	11年10月	2	0.11	0.056	51
シス-1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)				0.073	0.053	73
トリクロロエチレン (0.03mg/L)	福 井 市 江 守 中 (注1)	10年9月	1	<0.002	<0.002	—
	福 井 市 石 橋 町 (注1)	10年9月	2	0.017	0.007	41
	宮 崎 村 小曾原1区 (注1)	10年9月	2	<0.002	<0.002	—
	宮 崎 村 小曾原3区 (注1)	10年9月	2	<0.002	<0.002	—
	武 生 市 米 口 町	10年9月	2	0.17	0.033	19
	鯖 江 市 上河内町	8年6月	3	0.31	0.025	8
	鯖 江 市 立待西部	8年10月	5	0.16	0.021	13
	鯖 江 市 立待北部	8年5月	5	0.12	0.032	27
1,1-ジクロロエチレン (0.02mg/L)	鯖 江 市 立待東部	7年12月	1	0.099	0.024	24
				0.13	0.075	58
トリクロロエチレン (0.03mg/L)	鯖 江 市 立待南部	7年10月	5	0.054	0.024	44
	鯖 江 市 神明南部	4年5月	5	0.37	0.1	27
シス-1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	武 生 市 王 子 保	2年7月	7	0.11	0.013	12
		6年11月		0.097	0.06	62
トリクロロエチレン (0.03mg/L)	鯖 江 市 豊	2年6月	4	0.064	0.036	56
	武 生 市 大 虫	2年2月	4	0.12	0.033	28
	武 生 市 吉 野	1年11月	5	0.11	0.057	52
テトラクロロエチレン (0.01mg/L)	敦 賀 市 布 田 町	11年5月	4	0.021	0.012	57
	小 浜 市 伏 原 (注1)	10年6月	2	<0.0005	<0.0005	—
	勝 山 市 滝 波 町	8年5月	5	0.024	0.0058	24
	鯖 江 市 横 越 町	7年5月	2	0.017	0.004	24
	鯖 江 市 本 町	5年4月	5	0.38	0.12	32
	上 志 比 村 牧 福 島	4年5月	5	0.087	0.002	2
	大 野 市 新 町	1年12月	5	0.065	0.011	17
	武 生 市 北 府	1年11月	4	0.027	0.02	74
1,2-ジクロロエタン (0.004mg/L)	永 平 寺 町 光 明 寺	12年5月	3	0.015	0.0022	15
六価クロム (0.05mg/L)	鯖 江 市 水 落 町	12年8月	1	0.54	0.34	63
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (10mg/L)	高 浜 町 東 三 松	12年8月	1	51	37	73
		12年6月	1	0.032	0.029	—
砒 素 (注2) (0.01mg/L)	武 生 市 塚 町・三ツ屋町	12年6月	2	0.031	0.026	—
	坂 井 町 上 兵 庫	10年5月	1	0.035	0.018	—
	三 方 町 東 部	9年12月	3	0.15	0.089	—
	高 浜 町 園 部	2年11月	1	0.039	0.024	—

(資料：環境政策課)

(注 1) 環境基準の超過が工場敷地内の地下水に限定された地区であり、汚染発見年月は事業者から県に報告があった年月。

(注 2) 砒素による地下水汚染の原因は、いずれも自然由来と考えられる。

(備考) 福井市(特例市)分を含む。